

楽庵ニュース 第12号

2015年5月1日

発行元: NPO 法人茅ヶ崎ユニバーサルデザインスクエア

地域活動支援センター 楽庵

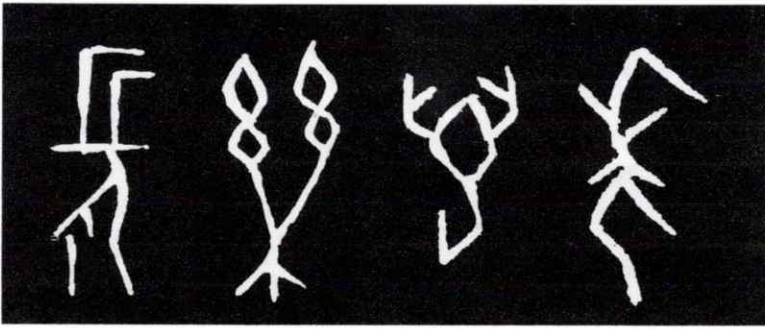
茅ヶ崎市浜竹3-4-64

AX 0467-86-5898

ホームページ <http://park11.wakwak.com/~rakuan>

メールアドレス rakuan@aq.wakwak.com

*長楽萬年(古代文字): 楽しいことの幾久しく限りないこと。



湘南 四季の花

全山新緑で、みずみずしい限りだ。若葉が輝いている。新林公園では2月はウメ、3月はサクラ、4月から5月はフジが真っ盛りだ。(藤沢市川名)

京都大学ではグローバル生存学という学際的な大学院教育を始めたい。現代の地域社会の社会不安を乗りこえるために専門分野に加えて幅広い視野をもつ倫理観や決断力や行動力を備えた人材を養成するらしい。

福祉分野での活動のみでなく、適時適切に私たちの生活を守るための知恵を得る努力は今の時代だからこそ大切だと感じる。楽庵は日常業務だけではなく地域社会を心豊かにしその安寧に貢献するための活動にも参加している。26年

度は松浪地区福祉協議会、まちぢから協議会、松浪ふれあいネットワーク交流会などに参加してきた。四月

長久保公園のエノキ (藤沢市辻堂太平台)



浪コミュニティセンターができた。楽庵のネットワークも広がりつつある。発達障害や高次脳機能障害の障害構造や機能に関しては楽庵自らの専門性を提供しながら幅広い視野をもって地域で生活するための環境作りに寄与していきたい。ここ数年大学や専門学校に出向いて若い学生にも生活支援の立場で具体的な指導を行ってきた。今年メン

バーの田代哲也さんが学生に講義した。障害者総合支援法にある障害者の理解を深めるための研修啓発、当事者だけではなく家族も積極的に参加して意見を言える場を作りたい。ボランティアには失敗や挫折に遭遇して乗り越える意味があるらしい。地域へのボランティア活動をすすめる、職員一同俯瞰的な観点をもって今年度も活動していきたい。(近藤裕美)

(近藤裕美)

家族面談と個人面談

新しい年度となり改めて適切な事業を展開できるように職員一同を引き締め、メンバーが新たな自分を肯定し自信をもって周囲の

人と関わられるように、ひとりひとり丁寧に寄り添っていきまします。社会人としての適応力を高めるために生活経験を広げ、活動しやすい環境を整備していきたいと思えます。ご家族からの情報を得て、



4月1日にオープンした松浪コミュニティセンター内のコミュニティカフェ



コミュニティセンター全景

恒例の教会バザー

5月31日(日)

カトリック茅ヶ崎教会

昨年は皆様のご厚意により、沢山のご寄付を頂きありがとうございました。朝一番で収穫した野菜、メンバーの方々の陶芸作品と共に、販売させて頂きました。引き続き今年も、ご家庭で眠っているご不用品がございましたら、ご寄付頂けますよう、よろしく願い致します。

ご本人の精神面や生活面、経済面の環境にあった目標を考へて社会的リハビリテーションを進めます。一方で健康を維持して安定した居場所としての楽庵の環境を見直していきたいと考えています。個別面談と家族面談を適宜実施していく予定です。日程は追ってお知らせいたします。

その他、認知能力の向上及び社会的スキルのアップを目指し、又そのために必要な家族相談・支援も行っている。

これからの予定

理事会

期日 5月29日(金)18時

平成26年度事業報告・決算報告

平成27年度事業計画・予算説明

NPO総会と家族向け講演会

期日 6月6日(土)

①事務報告・承認 10時〜

②講演会 10時30分〜

「(仮題) 高次脳機能障害者の生活課題」

講師 本間真司氏

高次脳機能障害ピアサポート

センター「スペーススナ」施設長

集団認知リハビリや生産活動、

その他の活動の機会提供を通

昨年 楽庵ニュースは諸事情で発刊できませんでした。季節がめぐりまた草花の美しい時期になりました。平成26年の活動の報告は次号に掲載します。先日、お花見は大庭城跡公園に行きました。なぞなぞクイズでは3問正解者に朝採れ野菜のご褒美ができました。手指の左右交叉運動の課題には全員真剣に挑みました。プロのカメラマン茂木春樹さんがいきいきとした表情のメンバーをとらえました。今年も生活経験を広げる目的で楽庵を飛び出していきます。

